



# 「若鯨会」 を知る



若鯨会情報誌2021 No.192  
**W.PRESS**

相談できる! 新商品のヒントがある!  
経営について学べる!  
ビジネスチャンスが満載!  
会員数約500名  
日本最大級の異業種交流会

## コロナ禍の一年を振り返る

経営者にとってコロナ・ショックを乗り越えることが課題となった一年。前向きに活動する観光業と飲食業の会員に、自社事業と若鯨会について語っていただきました。

**Q** GoToキャンペーン以外でどのような取り組みをしましたか?

平塚: 宿泊業をメインで行なっているのですが、コロナの影響は甚大でした。



平塚 正人 Masato Hiratsuka

株式会社みらいホールディングス 取締役専務執行役員  
名古屋・豊田の「アットインホテル」の運営のほか、  
マンスリーマンションなど宿泊業をメインに展開。  
昭和47年生まれ。平成25年若鯨会入会。

しかし立ち止まってはられないので、昨年11月の豊田市に続き、来年の春には高山市に自社で5棟目となるホテルを開業します。攻めの姿勢で失った売上を取り返す意気込みです。

安野: 飲食業界もこれまでにないほど苦境に立たされました。今後の可能性を信じ、車海老やうなぎの養殖という新たな事業展開を決断しました。逆境はチャンスでもあるので、美味しい新メニューの提供を早く実現させたいです。

**Q** 若鯨会に入っていてよかったことは何ですか?

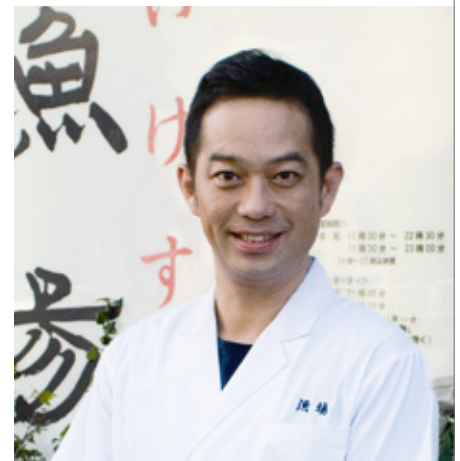
安野: ステイホーム期間中、若鯨会の仲間がテイクアウトやデリバリーを利用してくれました。さらに、補助金情報を教えてくれたり、専用サイトの立ち上げなどで協力してくれたりしました。頼もしい仲間を支えられてとても助かりました。

平塚: コロナ禍では素早い判断力と組織をまとめる力が経営に求められました。その際、若鯨会でのグループリーダーや幹事会での経験が大いに役立ったと思っています。

**Q** 入会を希望される方へメッセージをお願いします。

平塚: 年齢や業種を問わずフラットな関係で交流できるのが魅力ですね。懇親会はとても楽しいので、コロナが収束したら積極的に参加してみてください。

安野: 若鯨会は仲間を求めて入会する方が多いです。本気でビジネス話もすれば、たわいもない話も。本音で語れる仲間が自然と増えて楽しいです(笑)。



安野 隆二 Ryuji Yasuno

有限会社漁場(ぎよば) 代表取締役  
名古屋新栄で新鮮な魚介料理の「いけす漁場」、  
今池でふぐ料理・しゃぶしゃぶの「博多」を経営。  
昭和51年生まれ。平成26年若鯨会入会。

### 「若鯨会」とは?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。今年で39年目を迎える若鯨会は創立以来、自主運営で事業活動を行っており会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に、業種の壁を越えて活動しております。14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

### 新入会員募集中

資料請求はコチラ

お問い合わせ  
お申込み先

名商中小企業部内 若鯨会事務局まで  
**Tel. 052-223-5634**

WEB

<http://www.wakashachi.net/>

